

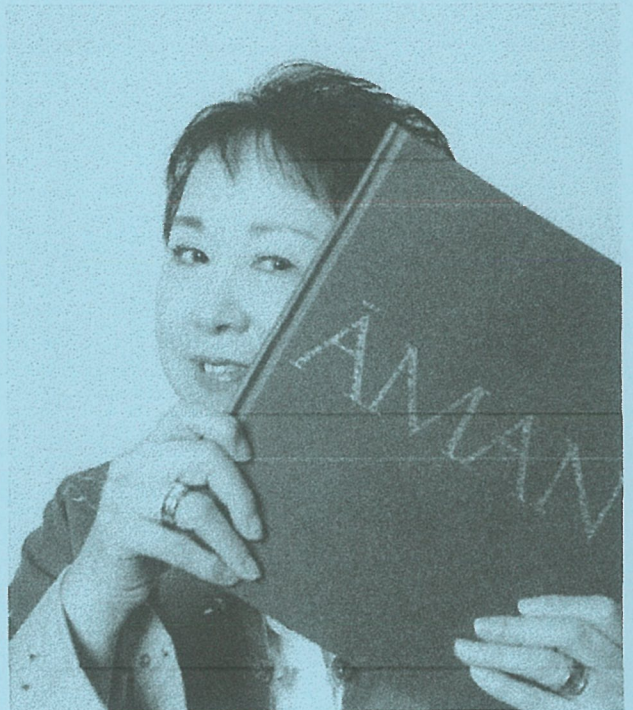
『人生は旅、今も舞台は地球、 そして着地点は安曇野でした。』

2024年4月、私は東京人を卒業し、プライベートな暮らしを安曇野で送りたいと移住したのがちょうど2年前の3月末から4月初旬でした。

まだまだ安曇野初心者ですが、思い描いていた安曇野とは違うことも、驚きも、もちろん感動も含め、いろいろなことを発見しました。移住者でなければわからないこと、また住んでみてわかったことが多々あります。

年齢を重ねましたが、今でも現役のホテルジャーナリストとして国内外を行ったり来たり。何もわからず必至の2年が過ぎた今、安曇野に戻るたびにホっとして肩の力が抜けるようになりました。

私の職業はホテルジャーナリスト、30年目となりました。なぜ日本では誰も目指さなかったこの仕事に就いたのか、実はそれも安曇野と無関係ではありません。世界を通じて感じる安曇野の魅力をお話しし、なるほどと、皆様に再確認していただければと思います。



日時：令和6年4月11日（木）午後1時30分～3時30分

場所：穂高会館第3会議室（安曇野市穂高5047 TEL：0263-82-5970）

話し手： せきね きょうこ さん

埼玉県出身、東京での学生生活後にフランスの大学へ留学。その後スイス政府観光局グリンデルワルト日本語案内所に在職中に4ツ星ホテル居住3年。

伝統文化・歴史の他に「衣・食・住・遊」が詰まる‘ホテル’に魅了され、94年から現職のジャーナリズムへ。国内外で取材、執筆、連載・著書多数。 www.kyokosekine.com

参加費：500円

申し込み先：安曇野案内人倶楽部 手塚 090-1883-6867 (9:00~18:00)

と〜くサロンとは…

月に一回集まって、年齢も性別も経歴も関係なく地域の話で盛り上がり地元の方のお話を聞いたり、井戸端会議感覚で楽しみましょう、という会です。

気楽に参加いただきたいのですが、資料の準備の関係でできるだけ予約をお願いしております。

次回は… 5月11日（木）13:30～ 『早春賦』の作詞者 吉丸一昌と安曇野

矢花 和成 さん（安曇野案内人倶楽部）のお話です。